

令和4年12月15日（木）尾道市立美木原小学校

### 【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



### 【事後アンケートより】

#### 本見学会において会場校より学んだこと

- ・学校の至るところのスペースを、上手く使った本の展示の仕方や、授業に関係する内容の本をたくさん廊下に展示するというアイデア、本を読むうと思えるような貸出カードの工夫（借りた冊数を色を塗ってうめる等）、ずっと本に手が伸びるような環境構成が参考になりました。廊下が広いので、その廊下を活用した環境構成に取り組みたいと思います。
- ・学校全体が図書館になっていて、本を活用した学びが多様にあった。視覚支援による掲示で本の選び方や本の活用方法などが分かりやすく説明されており、児童が自発的に学べるような仕掛けがたくさんあった。どんな児童にも対応した本が場所を工夫して紹介されていたため、読書に対して苦手意識をもった児童でも自然と本に親しむことができるようになっていた。また読んだ内容を絵画にしたり、ビブリオバトルに参加したりと様々な形で本から学んだことを次のステップに生かす取り組みもあって、とても参考になった。
- ・学校全体が学校図書館と連携し、児童の読書活動及び学習を支援する様子が分かり、大変参考になりました。児童生徒の発達段階に合わせた蔵書を揃える、教育活動に必要な蔵書を提供する、教職員・図書委員会の声が届く図書紹介など、子どもの身近な存在として環境を整え読書活動を支えたいと思います。
- ・選書や環境づくりの工夫についてとても勉強になりました。特に、図書室だけではなく、廊下などに先生によるおすすめの本や図書館司書の先生による宅配の本などが各教科と関連付けて配置されていてとても素敵だと思いました。児童の実態に合った選書や環境づくりを工夫していきたいです。

- ・学校図書館の運営において、教職員（司書教諭）・図書館司書・ボランティアの三者による「共働」が、必要不可欠なのだということを学びました。（例えば思考ツールのような）新しい学びにも、対応していくことができるように、常に情報をアップデートしていきたいです。
- ・本の掲示の工夫や学習への本の取り入れ方を学びました。教師と連携した児童生徒が本の魅力を実感できる活動に取り組んでいきたいと思います。
- ・司書教諭や教員との連携の大切さを学びました。掲示や展示、読書案内、本の管理、並行読書に取り組んでみたいと思います。

